

相談支援センター 絆 だより

障がい者サポーター研修 in 熊本県立大学

明けましておめでとうございます。今年は城南まちづくりセンターへ移転することや、人員が増えるなど、絆が新体制となり、慌ただしい一年になると思いますが、今年もよろしく願い致します。

さて、今回は昨年12月2日に行いました『熊本県立大学での障がい者サポーター研修』についてご報告させていただきたいと思います。

今年度5回目となる今回は、熊本県立大学の総合管理学部の学生に向けて熊本市障がい保健福祉課と合同で障がい者サポーター研修を行いました。熊本県立大学 総合管理学部では、幅広い分野を学び、総合的な知識を高め、地域のリーダーとなる人材を育成する学部としてあるそうです。今回の研修は、先生たちが、未来を担う学生たちにも「障がい」への理解を深め、視野を広げてもらい、今後の地域づくりに生かしてもらいたいとの思いから開催される運びとなりました。

絆では「車いす講習及び車いすでの学内散策」を担当しました。学内散策を通して、普段使っている学校が車いす利用者からどう感じるのかを実際に体験してもらえればと思い企画しました。学生たちも「トイレが使いづらい」「扉が開けづらい」「いつもの地面が実は斜めに傾いていた」など、普段気付かないことに多く気付いてもらうことができ、先生たちからもご好評をいただきました。

出前講座を始めてから5年目を迎えようとしています。今後も研修内容など研鑽していきながら、より多くの人に障がい理解を深めてもらえる機会を提供していきたいと思えます。

研修風景



講義



スロープ



段差

今月の福祉の豆知識



ユニバーサルデザインとは...

「年齢や能力、状況などにかかわらず、デザインの最初から、できるだけ多くの人々が利用可能にすること」が基本コンセプトである。デザイン対象を障害者や高齢者に限定していない点が「バリアフリー」とは異なる。